

# 令和4年度 菊川市地域コミュニティ活性化事業 講演会「地域づくりの土台づくりという視点」 実施報告書

令和4年12月15日  
特定非営利活動法人アートコラールきくがわ



## 1. 目的

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、中止や規模縮小を余儀なくされている地域コミュニティ活動の活性化に向け、地域と人との関係づくりの重要性を学ぶ。

## 2. 実施概要

- (1) 日 時：令和4年12月10日（土）10：00～12：00
- (2) 会 場：菊川市役所庁舎東館プラザきくる 3階会議室
- (3) 対 象：主に市内コミュニティ協議会や地域づくりに関心のある方
- (4) 参加者数：37人（コミュニティ協議会25人・市民活動団体等12人）
- (5) 参加費：無料
- (6) 主 催：菊川市／菊川市市民協働センター

## 3. 講師紹介

### 小田圭介 氏

1981年生まれ。裾野市出身。

総務省地域力創造アドバイザー、静岡県地域づくりアドバイザー

裾野市東地区おやじの会「何にもしない合宿実行委員長」

社会教育に不足する「日常の関係」に着目し、子どもたちと地域との接点、世代や学校を超えたつながりを作るべく、月1回のお泊り会「何にもしない合宿」を考案。大人たちが特別なことを“何にもしない”合宿は、地域内の人間関係網を厚くし、教育に限らずすべての地域づくりの土台を作る事業として定着している。

## 4. 講演内容

- (1) 講演「地域づくりの土台づくりという視点」
  - ・地域活性化とは「日常が幸せになること」であり、活動には何よりも継続開催が大切。イベントの後にも交流がある状態になること。
  - ・地域の担い手不足の要因は人口減少や少子化ではなく、つながり不足が要因。
  - ・人と地域をつなげ、良好な関係作りが大事で、地域づくりの土台となる。
  - ・「やりたい人」（2割）がやる、「やりたくない人」（8割）は邪魔をしない、の原則で行動すること。やらない理由をあぶりだすと不幸になる。
  - ・将来の担い手である小学生や地域つなぎにおいて最も大切な中学生の頃から「個」と「個」のつながりを構築し、長期にわたり関係を持続させていくことが必要。
  - ・地域住民の得意（やりたいこと）を支援し子どもたちの居場所づくりにつなげる。

## (2) 感想共有

○講義の途中、講師からの質問に対しグループ（3~4人）で共有した。

- ・地域とはどこのことか？
- ・なぜ、スポーツ教室を開くと消防団員確保につながるのか？
- ・中学生が次に地域と接点を持つのはいつ頃になるか？ 等

## (3) 紹介事例 消防団クラブ、東地区おやじの会（何もしない合宿）

## (4) 配布資料（講演終了後に配布）・・別添「地域づくりの土台づくりという視点」

## 5.まとめ

### (1) アンケート結果

○別添 参加者アンケート参照

○主な感想

今回の主な参加者であるコミュニティ協議会（60代以上）の方は、講演内容に満足しながらも現実に落とし込むと実施が困難だと感じて、地域に若い人にも関心を持ってもらうためには子育て世代にも聞いてほしいという意見が目立った。一方、市民活動団体の参加者は、「次の世代を育てることを考えていたので参考になった」「地域に何もしない合宿を提案したい」など前向きな意見も聞かれた。

### (2) 所感

地域で解決することが困難な問題が増加している中、「人と地域」をテーマにした先進的な取り組み事例から、今後、地域活性化には地域住民のよりよい関係作りが重要だと感じた。

市民協働センターには、地域に関心のある高校生や大学生、市民活動団体など若い世代が多く来館する。今後、それらの人（団体）とコミュニティ協議会が協働で事業を行えるようサポートすることで「地域づくりの土台づくり」を推進していきたい。

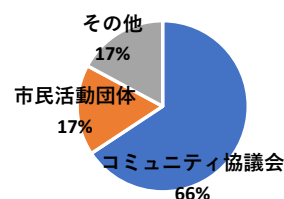
講演会 8 グループ感想共有 記録写真



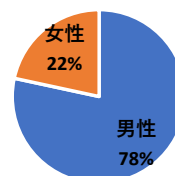
# 「地域づくりの土台づくりという視点」講演会参加者アンケート

令和4年12月10日

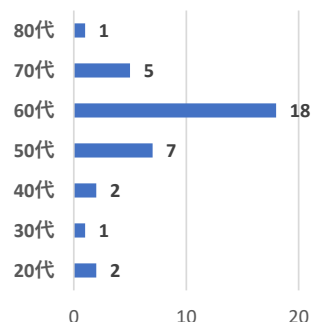
所属	合計
コミュニティ協議会	23
市民活動団体	6
その他	6
	35



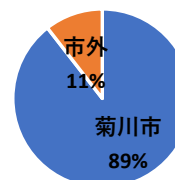
性別	合計	コミュニティ協議会	市民活動団体	その他
男性	29	24	1	4
女性	8	1	5	2
その他	0			



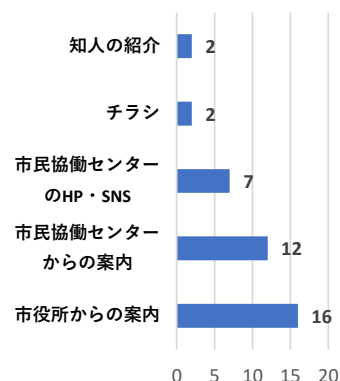
年代	合計	コミュニティ協議会	市民活動団体	その他
20代	2		2	
30代	1			1
40代	2			2
50代	7	2	3	2
60代	18	16	1	1
70代	5	5		
80代	1	1		



お住まい	合計	コミュニティ協議会	市民活動団体	その他
菊川市	34	26	5	3
市外	4		1	3



認知媒体	合計	コミュニティ協議会	市民活動団体	その他
市役所からの案内	16	16		
市民協働センターからの案内	12	7	3	2
市民協働センターのHP・SNS	7		3	4
チラシ	2		1	1
知人の紹介	2	1	1	
その他	0			



## 1. 講演会に参加しようと思った理由を教えてください。

### 【コミュニティ協議会】

- ・地域とのつながり方を勉強したいと思い参加した。
- ・地域を少しでも良くしたいので。
- ・地域づくりと活性化したい。
- ・以前コミュニティカレッジで良い内容だったので。
- ・自分の勉強になればと思い。
- ・何か得るものがあるかもしれない。
- ・何かヒントになることを期待して。
- ・コミュ協の発展のため。
- ・会長として必要性を感じたため。何か役に立つ内容が得られればと思った。
- ・コミュニティ協議会の役員なので参加して役立てたい。
- ・菊川市地域支援課からのメールでコミュニティ協議会からの4名を限度として参加希望をされた。
- ・コミュ協役員のため。（2件）
- ・コミュ協活動の参考とするため。（3件）
- ・市・協働センターからの案内。（4件）

### 【市民活動団体】

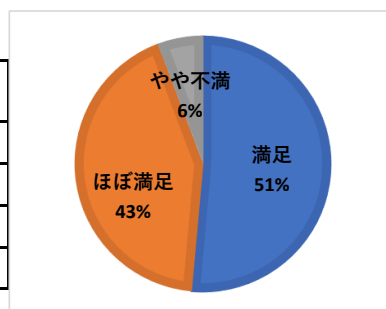
- ・地域のコミュニケーションの活性化のために考える方向性。
- ・市民協働センターからの案内で、ぜひ参加しようと思った。
- ・地域活動をするうえで何か参考になることがあればと考えた。
- ・小田さんのお話を聞いたことがあったので。
- ・笠原さんに誘っていただいたため。
- ・NPOを始めようと考えているため。

### 【その他】

- ・地域づくりの土台は大切だと考えている。高齢化の自治会で地域づくりをしたい。
- ・地域に危機感があったため。
- ・地域づくりに興味があったため。
- ・地域で活動するうえでのヒントを学びたかった。
- ・今後の活動を広げていく参考になればと思った。

## 2. 講演会の感想はいかがでしたか？

	合計	コミュニティ協議会	市民活動団体	その他
満足	18	6	6	6
ほぼ満足	15	15		
やや不満	2	2		
不満	0			



## 【コミュニティ協議会】

### ー「満足」の理由ー

- ・40代の講師の若い考え方と若い考え方と行動力に関心した。
- ・大変勉強になりました。
- ・”なにもしない合宿”は発想の転換でとても新鮮だった。

### ー「ほぼ満足」の理由ー

- ・人と人との交流の大切さ！人と人との交流は「祭り」が良い場所。
- ・新しい考え方があることが良かった。
- ・1つのテーマに沿った話だった（話が飛ばなかった）。自分の地域にはないことが多かった。
- ・地域住民のやりたい、子どものやりたいを掛け合わせることが必要だと思った。  
地域住民のやりたいを見つけること、方法が課題だと思った。
- ・小田圭介様の説明大変分かりやすく勉強になりました。活躍のエネルギーこれからも継続してほしい。
- ・やりたい人がメインになって実施してくと言う点が、理想であるが良い。
- ・地域づくりには「仕組み」が大事。
- ・やりたい人を探す仕組み。
- ・消防団とスポーツ、コミュ協とスポーツをもっと詳しく知りたい。
- ・自分が今日の講演を年代ではない。講演内容は満足した。
- ・現状の課題が少し分かった。
- ・現実はいさ少し難しいかな？

### ー「やや不満」の理由ー

- ・消防団員の確保の方法は共感できる。消防団員に聞いてもらいたい。  
子どもを持つ世代の親に聞かせたい内容で、年寄り向きではない。
- ・内容は良く理解できるが、年配の人が聞いてこれからどうする。  
若い人を対象の講演（対象が難しいが）。

## 【市民活動団体】

### ー「満足」の理由ー

- ・ちょうどいい”ナナメ”の関係。「自分だけが嬉しい」は「本当の嬉しい」でないことを再確認。
- ・”何もしない”という視点はとても斬新でした。でも確かに子どものころは「何もない」ところから色々生み出していたように感じる。
- ・何もしない大切さが理解できた。
- ・何度聞いても素晴らしい。若い人たちが参加したくなることを反対しないことが大切。
- ・これから取組みを進めていく上で大切な考え方、ルールを知れた。
- ・何度聞いても良い。

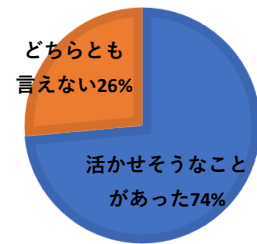
## 【その他】

### ー「満足」の理由ー

- ・良い気づきがあった。
- ・頭がもぎれるくらい共感した。
- ・負担にならないけれど、人が求める場づくりの必要性を改めて感じた。
- ・話を聞くだけでなく、考えたり、グループセッションの時間もあり参加して良かった。

### 3. 講演会を聞いて、今後の活動に活かせそうなことはありましたか？

	合計	コミュニティ協議会	市民活動団体	その他
活かせそうなことがあった	25	14	5	6
どちらとも言えない	9	8	1	
活かせそうなことはなかった	0			



#### 【コミュニティ協議会】

##### ー「活かせそうなことがあった」の理由ー

- ・民生委員を12月からスタートするにあたり、子どもと接点を持たなければいけないのですが、力を込めずにできそう。
- ・担い手がないのは人手不足でなく、つながりががないということに考えさせられた。
- ・コミュ協に入ってもらう人を探すには、知り合いになること。
- ・「やりたい」を大事にする。「やれない」理由を聞かない。「知り合う」が大事。
- ・もっと若い世代が関心をもってもらえる様にしていく必要があると感じた。
- ・子ども向けイベントを増やそうと思った。
- ・小学生、中学生とのつながりをつくりたい。
- ・つながりは重要ポイント。
- ・消防団の話はとても参考になりました。特に防災ポンプが実際に役立っていないことにはびっくりした。

##### ー「どちらとも言えない」の理由ー

- ・これまで私の持っていた構想に新たなものがあつたか、今のところ分からない。
- ・地域づくりに関わる組織、その組織づくりの方が難しい（その組織は各自治会から選ばれた人）  
→センター事務長が関わる割合を考えたことありますか？

#### 【市民活動団体】

##### ー「活かせそうなことがあった」の理由ー

- ・”何もしない”参加者たちが作り出した方が良いことも分かった。
- ・準備しすぎない。自由会話の時間が一番充実、ゆったりした場と時間の提供。
- ・「負担感0」を感じながらの活動は参考になった。「やりたい人」言いだしっぺ実行委員長は「やりたくない人」を否定しないのはいいと思う。
- ・やろうと思ったことはやってみる。やりたい人を応援することをやっていきたい。
- ・とにかく自分たちが楽しく負担の内容に進めて行けたらと思う。

##### ー「どちらとも言えない」の理由ー

- ・今は地域に根差して活動していないため。

#### 【その他】

##### ー「活かせそうなことがあった」の理由ー

- ・「やりたいことを妨げない」理解したポイント。
- ・じゃまをする人を減らすことができれば。
- ・地域で何もしない合宿を提案する。
- ・単発のイベントを開催しても地域の活性化には繋がらない。”日常の幸せ”はどう生まれるか考えていきたい。
- ・次の世代を育てることを考えていたので参考になった。



4. 今後講演会等で希望するテーマなどございましたら教えてください。

**【コミュニティ協議会】**

- ・60歳以上が地域でコミュニティを実現している事例や、方法を教えてもらいたい。
- ・私は65歳で、今回の講演を聞いて小田様のエネルギーを吸収したいと思った。  
できれば小田様と同世代前後くらいの人たちに、この講演をする機会をたくさん設けると良いと思う。
- ・参加者の対象をもっと若い30～40代くらいにすべきかなと感じた。
- ・コミュ協組織の難しさ、あり方をテーマに話し合う機会があっても。
- ・登校拒否と地域。
- ・コミュ協の担い手をつくる。
- ・子どもを連れ出す。

**【市民活動団体】**

- ・小規模多機能自治

**【市民活動団体】**

- ・高齢化と自治会
- ・異業種のつながり

5. その他ご意見、ご感想があればご記入ください。

**【コミュニティ協議会】**

- ・年代により背景が異なり、課題の捉え方が様々と感じた。
- ・若手の方に聞いてもらいたい講演でした。
- ・30代、40代の子育て世代が中心になれる組織が必要だと思った。
- ・地域の子どもの関りをどうしたら地域で構築していけるか。
- ・女性の会員を増やしたいが、どうするのがよいか？

**【市民活動団体】**

- ・一つずつの言葉が参考になった。無理を市内で、フリーの時間が大切なこともよく分かった。
- ・ありがとうございました。

**【その他】**

- ・すばらしい講演でした。ありがとうございます。
- ・またこのような講演があったら参加したい。

## 「地域づくりの土台づくりという視点」

日時：12月10日（土）10：00～12：00

会場：菊川市役所東館プラザきくる3階

### 次 第

1. 開 会

2. 講 演「地域づくりの土台づくりという視点」

講 師：小田圭介氏

総務省地域力創生アドバイザー

静岡県地域づくりアドバイザー

○感想共有

○質疑応答

○作戦会議

3. アンケート記入

4. 閉 会

## 地域コミュニティ活性化事業 講演会 参加者名簿

NO	所 属	氏 名	グループ	備考
1	内田地区コミュニティ協議会	竹内 敏昭	G	
2	内田地区コミュニティ協議会	岡田 祐三		
3	小笠東地区コミュニティ協議会	宮城 力弘	A	
4	小笠東地区コミュニティ協議会	石川 和寿	A	
5	小笠東地区コミュニティ協議会	白岩 真弓	A	
6	平川地区コミュニティ協議会	黒田 淳之助	B	
7	平川地区コミュニティ協議会	橋本 哲夫	B	
8	平川地区コミュニティ協議会	黒田 和男	B	
9	河城地区コミュニティ協議会	高木 基光	C	
10	河城地区コミュニティ協議会	宇佐見 芳行	C	
11	河城地区コミュニティ協議会	田中 義隆	C	
12	河城地区コミュニティ協議会	赤堀 浩史	C	
13	町部地区コミュニティ協議会	小沢 好考	D	
14	町部地区コミュニティ協議会	菅沼 猛	D	
15	町部地区コミュニティ協議会	北内 通雄	D	
16	西方地区コミュニティ協議会	杉平 共志	E	
17	西方地区コミュニティ協議会	瀧井 勝廣	E	
18	西方地区コミュニティ協議会	井伊谷 康廣	E	
19	みねだ地域づくり協議会	横田 達夫	G	
20	横地コミュニティ協議会	三倉 孝次	F	
21	横地コミュニティ協議会	柴田 芳明	F	
22	横地コミュニティ協議会	寺井 由紀夫	F	
23	横地コミュニティ協議会	中島 洋治	F	
24	六郷まちづくり協議会	藤田 哲也	G	
25	六郷まちづくり協議会	杉山 春男	G	
26	子育てサポーターばれぱれ	倉部 光世	H	
27	菊川市議会	西下 敦基	H	
28	掛川工業高等学校	杉山 直康	H	
29	青葉台1丁目自治会	村松 信隆	H	
30	つながる菊caféプロジェクト	太田 理恵	I	
31	つながる菊caféプロジェクト	菅野 真紀	I	
32	つながる菊caféプロジェクト	田中 淳子	I	
33	藤枝市地域おこし協力隊	三野 玄太	J	
34	スマイルフィットネス	二俣 裕子	J	
35	検討中	水野 なな子	J	
36	NPO法人ESUNE	斎藤 雄大	J	
37	静空書道会	平松 京楓	I	

# 地域づくりの土台づくりという視点

総務省地域力創造アドバイザー  
静岡県地域づくりアドバイザー

小田 圭介

090-1733-1382 [higashi0049@gmail.com](mailto:higashi0049@gmail.com)

# 消防団員の確保

# 消防団クラブ

(消防団員による多種目スポーツ教室)







**消防団 – P T A – 自治会**

**「地域づくり」とは**

**「地域」とは**

**地域 = 暮らしの話 = 日常**

**地域活性化 = 日常の幸せ**

# コミュニティと地域

# コミュニティと地域...

- コミュニティは多様化 ≠ 希薄化
- 「居住」地域のコミュニティ
- 何らかの仕掛けが必要

**地域づくりの土台**



**人と地域をつなげる**



福野市東地区

盛也

## 東地区おやじの会とは...

- 1998年 PTAの内部サークルとして発足
- 当初の目的は父親の教育への積極参加
- 学校の奉仕作業や児童向けのイベント

# 東地区おやじの会とは...

- ・ 活動の範囲を「東地区」に広げる
- ・ 教育の視点から地域づくりの視点へ
- ・ 言い出しっぺ実行委員長方式による変革

# 言い出しっぺ実行委員長方式とは...

- 「やりたい人」がやる
- 「やりたい人」が全部やる
- 「やりたくない人」は邪魔しない

「やりたい」

と

「やりたくない」

「やらない」

と

「やれない」





# 何にもしない合宿とは...

- ・ 2012年8月に発案・・・社会教育？
- ・ 夕食も入浴も朝食も各家庭にて
- ・ 事業名は特別な事を「何にもしない」

# 何にもしない合宿とは...

- 翌2012年9月に第1回を実施
- 基本的に月1回の開催を継続
- 「人と人が関わる場」 「人が人に関わる場」





**負担感 0**

# 負担なしを維持するために...

その1 「ルールを変える」

- ① ケンカをしない    ② ケガをしない
- ③ 21時に寝る → 21時になったら寝る努力
  - ➡ 管理したがる大人が現れた

# 負担なしを維持するために...

## その2 「名札をつくらない」

➡ 一度に全員の名前を覚える必要はない

## その3 「ゲーム機を禁止に」

➡ 夜中に寝袋の中でやる奴が現れた

## 参加者の目的は様々...

- 基本は楽しいで集まる
- 一丸となつてという感覚はない
- 子どもを預けて飲み会に行く親も
  - ➡ 関わる大人みんなそれでいいと思っている



# 子ども達との関係は...

親でもなく、先生でもない（タテ）

友達でもない（ヨコ）

ちょうどいい「**ナナメ**」の関係

**「うちの子」みたいな子**

**「うちの子」からの視点**

## 継続開催でうまれるもの...

- 接触機会の増加 → 月に1度ではない
- 地域の中での顔見知り
- 「個」で認識されること

**➡ 非日常から日常の關係に**

## 継続開催でうまれるもの...

- ・ 気のいい人間関係網
- ・ 「言い出しっぺ」が生まれる環境
- ・ 小学生が実行委員長を務めることも

➡ **地域づくりのプラットフォーム**

## 継続開催でうまれるもの...

- ・ 地域のお他団体とも連携
- ・ 役が面倒なものではなくなる
- ・ 担い手はいつ育て始めるか

**➡ 地域の担い手不足の解消～再生**

**担い手不足は  
人の不足が要因ではなく  
つながりの不足が要因**

# 継続開催で生まれるもの...

- ・世のため人のためとは違う
- ・自分 < 家族 < 地域の幸せ
- ・究極の利己主義

**➡ 地域が自分事に～地域共生社会**



# 中学生からの関わり...

- ・ 部活と勉強で忙しくなる時期
- ・ 地域から心が離れていないか
- ・ 次に地域と接点をもつのはいつ？

**地域つなぎにおいて  
最も大切な 3 年間**

## 中学生からの関わり...

- 遊びの場 → 評価される場ではない
- 年下からベタベタされ、大人から頼られ
- 自己肯定感を高める場に
  - ➡ 中学生がたまる場に批判の声も

# 地域のたまり場

# 消防団クラブ

(消防団員による多種目スポーツ教室)

# 背景

- 消防団員（新入団員）の確保が毎年の課題になっている
- 毎年様々な勧誘の手法を試みるが結局「つながり」の力が結果を出している
- 既存の「つながり」だけでは限界があることが分かっている

# 目的

- **長期的視点で勧誘にかかる時間的・精神的負担を軽減する**
- **新入団員確保のために在団員と勧誘対象者との「つながり」を生み出す**
- 団員個々を地域から応援される存在に引き上げる

# 主目的である新入団員確保

## [将来視点]

- 8年後以降に「つながり」の力を生かし入団者を確保することを可能にする
- 参加者と団員が「個」で認識しあい「日常の関係」を構築する必要がある



# 波及効果

**[子どもの孤立という社会課題の解決]**

- **家庭の事情、親の都合により学校・家庭以外の居場所へのアクセスを持たない子の存在**
- **子どもの孤立を解消する親でも先生でもない「ナナメの関係」 = 社会的相続**

**地域住民の「得意」を  
子ども達の「居場所」に**

**「個」 × 「日常」**

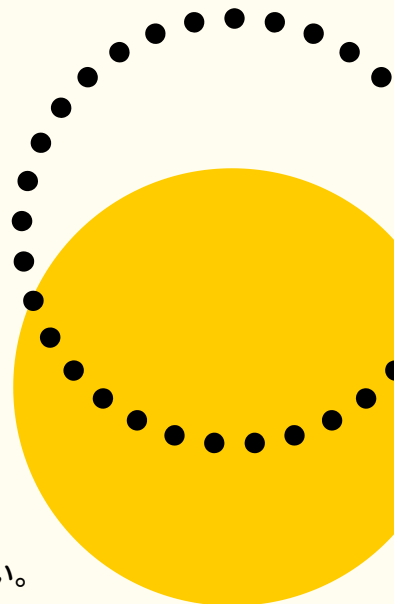
**人と地域がつながる**

**地域づくりの土台**

令和4年度  
菊川市地域コミュニティ活性化事業

# 地域づくりの 土台づくりという視点

講師から、地域コミュニティ活動の取り組み事例を通して、地域づくりにおいての人との関りの重要性について学びます。ぜひお気軽にご参加ください。



12月10日(土) 10:00~12:00

会場

菊川市役所東館プラザきくる3階会議室 E301

対象

コミュニティ協議会、市民協働センター登録団体、  
その他地域づくりに関心のある人

参加費

無料

定員

50人

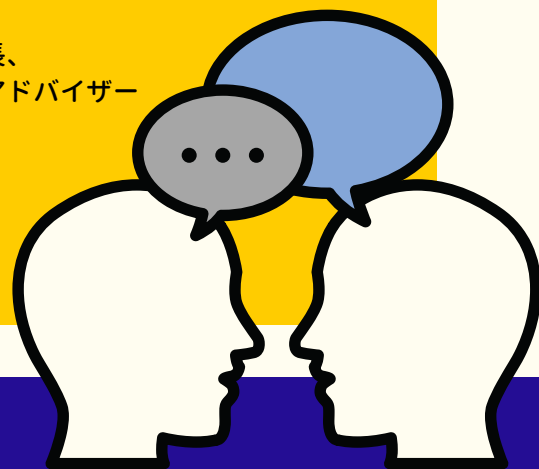
講師

小田圭介氏 1981年生まれ。裾野市出身。



裾野市東地区おやじの会何にもしない合宿実行委員長、  
総務省地域力創造アドバイザー、静岡県地域づくりアドバイザー

社会教育に不足する「日常の関係」に着目し、子どもたちと地域との接点、世代や学校を超えたつながりを作るべく、月1回のお泊り会「何にもしない合宿」を考案。大人たちが特別なことを「何にもしない」合宿は、地域内の人間関係を網を厚くし、教育に限らずすべての地域づくりの土台を作る事業として定着。



申込み・問い合わせ

①団体名 ②参加者氏名 ③電話番号 ④メールアドレス をご記入の上、  
裏面申込書をFAX または 申込フォーム(QRコード)でお申し込みください。

主催：菊川市

企画・運営：NPO法人アートコラールきくがわ（菊川市市民協働センター受託団体）



「地域づくりの土台づくりという視点」

申 込 書

1. 団体名	
2. 参加者氏名	①
	②
	③
	④
3. 電話番号	
4. メールアドレス	

\*令和4年12月5日(月)までに申込みしてください。

申込み・問い合わせ

菊川市市民協働センター

電話・FAX：0537-35-2220

メール：kikucen1@sage.ocn.ne.jp